

### 活動する・体験する場面での活用①（カメラ機能の活用）

小学校1年 生活科  
「たのしいあき いっぱい」

- ①カメラを使おう！
- ②校庭の秋を撮影しよう！



#### ICT活用のポイント

- ①まずは教室の中で、カメラ機能を使う練習をします。カメラ機能は、低学年の児童にも扱いやすく、初めてタブレットPCを使う練習にピッタリです。
- ②校庭で見つけた「秋」を撮影しに行きます。カメラで撮ると、後で何度でも見られるし、その日お休みしていた友だちとも発見を共有することもできます。

### 活動する・体験する場面での活用②（報告会での活用）

小学校1年 生活科  
「たのしいあき いっぱい」

③見つけた秋の報告会をしよう！



#### ICT活用のポイント

③教室の大型モニタや手元のタブレットPCを通して、見つけた秋の報告会をしました。

～子どもたちのふりかえりより～

「赤や黄色の葉っぱばかりじゃなくて、緑のままのもあるんだね」

→自分が撮った写真と友だちのものを比較・共有することで、新しい発見や、更なる学びの深まりにつながりました。

### テレビ会議システムを活用し、複数クラスで同時に描画アプリの操作を学ぶ

2年生生活科の学習で、情報機器との慣れ親しみ、表現の方法を身につけることを目的として描画アプリ「ChromeCanvas」を使用して、その操作方法を学んだ。テレビ会議システム（GoogleMeet）を使用し、特別支援学級を含む3クラス同時に授業を行った。教室の壁を越えた学習が実施できた。低学年の間に描画アプリの操作を習得することで、今後の学習活動への活用が期待される。授業の内容は、①アプリを使った描画の方法、②作成した絵を画像ファイルとして保存する方法、③保存されたファイルを添付して教員へ提出する方法の3つの技能を習得することである。

アプリへの興味や学習意欲を高めるため、特別支援学級の児童がアプリで絵を描いている様子をリモート中継し、子どもたちとアプリとの出会いに工夫を加えた。

<第2学年 Chromebookで絵を描こう>

#### ICT活用のポイント

テレビ会議システムを使用した場合、ネットワークの状況により映像が停止したりすることもよくある。一定時間待つことで回線が復帰することもあるので、慌てずに待つことがポイントです。



授業冒頭テレビ会議システムで描画の様子を見る2年生児童のリアクションがよい（動画：約1分）



校舎内の別の教室で絵を描いている様子を配信したり、作品集をスライドにまとめたものを画面共有して2年生の教室へ配信している。



大型ディスプレイの映像を見ながら「自分もかいてみたい!」と意欲を高めていました。

### 学級学年をまたぐ他者との協働的な学習

学校において学級集団のみならず、学級や学年をまたいだ他者との協働的な学びの場を設定した。特別支援学級児童にとっては、自分が得意な活動を披露することで、コミュニケーションをとることができ、双方に学習のめあてを達成することができた。

＜第2学年 Chromebookで絵を描こう＞

#### ICT活用のポイント

離れた教室でもテレビ会議システム(Meet)を使用することで、協働的な学習の場を作ることが可能。また特支児童の特性に配慮し、落ち着いた空間に居ながら協働学習に参加できる。



 テレビ会議システムの録画映像。それぞれの教室で映し出されている映像が交互に(26秒)

### デジタル特有の描画スタイルの習得と活用

デジタルの描画アプリは紙に書いたものとは色の重ね方や線の消し方など様々な点で異なる。デジタルの特徴を知ること、今後の学習活動への活用が期待できる。低学年からこれらの情報活用スキルを身に付けておくことで、個別の課題解決に際してテクノロジーを主体的に選択して活用していくことにつながる。

＜第2学年 Chromebookで絵を描こう＞

#### ICT活用のポイント

絵の描き方に加え、描いた絵を画像データとして保存する方法を指導することで、他のアプリへの転用など汎用性が高まる。データにはいろいろな種類があることを体感的に理解させたい。

